

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 7 月 31 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部 経済学科
留学(渡航)した時の学年	4 年生
帰国年月日	2026 年 6 月 8 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	スペイン
留学先大学	レイ・フアン・カルロス(日本語名) University Rey Juan Carlos(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	スペイン語/英語
留学期間	2025 年 9 月～2026 年 5 月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	☒ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 経済経営学部 現地言語での名称: Facultad de Ciencias de la Economía y de la Empresa ☐ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月中旬～12 月中旬 2 学期: 1 月中旬～5 月下旬 3 学期: 4 学期:
学生数	46000 人
創立年	1996 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (€) (1 現地通貨 = 165 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費	5000	円	ピソ(シェアハウス)約 500€/月×10 ヶ月
食費	3000	円	300€/月×10 ヶ月
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	100	円	10€/月×10 ヶ月
現地交通費	100	円	10€/月×10 ヶ月 大学までメトロ(☐ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)	3,030	円	ヨーロッパ旅行など
被服費	100	円	
医療費		円	
保険費	1,212	円	形態: 大学と個人でそれぞれ
渡航旅費		200000 円	
ビザ申請費		6000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	12,542 (=2,069,430 円)	206000 円	
総計(A+B) ※円		2,275,430 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：東京 目的地：マドリード 経由地：南アフリカ

復路 出発地：マドリード 目的地：東京 経由地：上海

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：エミレーツ航空 料金：130000

復路 航空会社：中国東方航空 料金：70000

∴合計：200000

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名：skyscanner)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☐ 学生寮(寮の名前：) ☒ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

スペイン掲示板というサイト

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

マドリードは住居を確保するのが大変なので、早めに動くといい

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

なし

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使えない時はカフェに行った。)

接続は好調だった

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

ワイズとオリーブの講座を作っていた 親から送金

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

薬やスキンケア類など日常的に使っているもの プラグの変換器

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
13.5ect 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☐ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
PUBLIC FINANCES I	公共財政
科目設置学部・研究科	経営経済学部
履修期間	1 学期
単位数	4.5ECT
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間にそれぞれ 60 分と 120 分が 1 回
担当教授	KARIN TAILBOT
授業内容	特に歳出(政府支出)と社会政策に焦点を当てながら、経済における政府の役割を探究する。市場の失敗に対処し、公平性と効率性を促進するために政府がどのように介入するかについて学ぶ。
試験・課題等	中間と期末に紙でテストがある グループでの発表
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
SPANISH AND WORLD ECONOMICS		スペインと世界経済
科目設置学部・研究科	経営経済学部	
履修期間	2 学期	
単位数	4.5ECT×2	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間にそれぞれ 60 分と 120 分が 1 回	
担当教授	ISMAEL SANZ LABRADOR, CLÉMENT KANYINDA-MALU KABIENA	
授業内容	経済成長のプロセスおよびそれを決定づける要因について学習する。世界貿易や国際金融市場で生じた主要な変容、ならびに金融のグローバル化(金融グローバリゼーション)の原因と結果について分析する。	
試験・課題等	中間と期末にテスト 教授によってはオンラインで選択式問題形式のテスト	
感想を自由記入		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
ECONOMIC COMMUNICATION		経済コミュニケーション
科目設置学部・研究科	経営経済学部	
履修期間	1 学期	
単位数	6.0ECT	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回	
担当教授	SUSANA DÍAZ IGLESIAS	
授業内容	マーケティングおよび市場調査領域の導入的な位置づけ。マーケティングのツールや意思決定に関する基礎概念を紹介。	
試験・課題等	選択問題のテストが中間と期末にある。 グループでのプレゼン。	
感想を自由記入	先生の授業キャンセルが多く、一分で一問を解かせるようなテストで、プレゼンの資料作りなどの課題量が多かった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
FINANCIAL MATHEMATICS		金融数学
科目設置学部・研究科	経営経済学	
履修期間	1 学期	
単位数	6ECT	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回	
担当教授	MARÍA ELISA GARCÍA ABAJO	
授業内容	多数の経済・金融の意思決定において中心的な役割を果たす「時間の経過に伴うお金の価値の変動」を支配する原則を、学理解し適用するために必要な概念的・実践的ツールを学ぶ。	
試験・課題等	中間と期末のテスト	
感想を自由記入		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
MACROECONOMICS		マクロ
科目設置学部・研究科	経営経済学	
履修期間	1 学期	
単位数	4.5ECT	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間にそれぞれ 60 分と 120 分が 1 回	
担当教授	MARCOS SANZ MARTÍN-BUSTAMANTE	
授業内容	マクロ経済	
試験・課題等	中間と期末のテスト	
感想を自由記入	マクロⅠとⅡで教授が変わることがある。教授によって授業内容が違い、難易度も教授による。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
STATISTICS	統計学
科目設置学部・研究科	経営経済学
履修期間	1 学期
単位数	4.5ECT
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間にそれぞれ 60 分と 120 分が 1 回
担当教授	DAVID MORENO VINCENT
授業内容	統計学の基本
試験・課題等	中間と期末のテスト
感想を自由記入	内容自体は概念など基本的なのだが、応用問題が多くこの教授のテストは難しかった。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

マイナビなど

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

時差があるので体調管理が大事。OBOG 訪問やインターンなどは留学前にしておくといいと思う。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	語学試験の勉強
	10 月 ～ 12 月	選考
留学開始年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	ビザ取得、滞在先確保
	8 月 ～ 9 月	留学開始
	10 月 ～ 12 月	期末試験
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	期末試験
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

1. 留学先国・大学を選んだ理由

私が留学先としてスペインのマドリードに位置するユニベルシダ・レイ・フアン・カルロス (URJC) を選んだ理由は、専門である経済学(主に財政学や公共経済学)を欧州ならではの視点から英語で学べる環境が整っていたためです。また、スペインは歴史的・文化的背景が非常に豊かであり、単なる学問にとどまらず、多様な価値観や歴史の文脈に触れながら視野を広げられると考えたことも大きな決め手となりました。

2. 留学生活全般・学習面でのアドバイス

• 授業や学習について 現地での講義は、理論の修得だけでなく演習やグループワークでのディスカッションがあります。テストでボーダーラインを超えないとグループワークなどの評価が無意味になってしまうのが大変でした。同じ科目でも年によって先生が変わり授業の形態が変わったり難易度が変わったりします。

• 現地での生活・人との関わりについて 滞在先での生活や現地学生・留学生との交流を通して、多様なバックグラウンドを持つ人々と出会えます。学生は交通費がとても安かったり、クラブに無料で行けるなどお金をかけずに楽しめる環境があるので、スペインの学生ライフを楽しんでください。現地での生活(住居の手配や日々の移動、体調管理など)には事前のアクティブな情報収集が欠かせませんが、現地のコミュニティに積極的に飛び込んでいく勇気を持ってほしいです。

3. これから留学を目指す皆さんへ

留学は楽しいことばかりではなく、つらいことやストレスを感じることもたくさんあります。それでもその時にしか味わえない経験をたくさんしてください。現地に着いたら失敗を恐れずに挑戦してみてください。応援しています。